

新日本フィルハーモニー交響楽団
アニュアルレポート 2012-2013
Annual Report

Annual Report 2012-2013

2013年8月30日発行

発行者 公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3

すみだトリフォニーホール内

TEL. 03-5610-3820 www.njp.or.jp

Contents

■ 2012～2013年 活動概要

1. はじめに	1
2. 事業内容について	1
3. 運営状況	2
4. 今年度（平成25年度）について	5
5. 演奏の記録	6

■ 会員一覧

特別支援企業／団体・賛助会・維持会・新日本フィルを支えるすみだの会

■ 楽団概要・楽団員一覧

■ 役員・評議員・顧問・団友一覧

※ 本誌は2012年4月1日から2013年3月31日までのレポートになります。年間シーズン（毎年9月～翌年8月）とは異なります。
※ ただし、役員・楽団員一覧及び会員一覧はそれぞれ2013年6月現在といたしました。

1. はじめに

平成24年度は、楽団が創立40周年を迎え、墨田区を本拠地とし、すみだトリフォニーホールとフランチャイズして15年、そして公益財団法人に移行して最初の年度と、新日本フィルにとって節目の年となりました。

そして10年間音楽監督として共に音楽を作り上げてきたクリスティアン・アルミンクとの集大成となる最後のシーズンが始まるとともに、インゴ・メッツマッハー（平成25年9月～Conductor in Residence）、ダニエル・ハーディング（Music Partner of NJP）という今後の新日本フィルでタイトルを持つ二人の指揮者を中心にして新たな道を歩んでいく序章とも言えるシーズンにもなりました。

2. 事業内容について

2-1 公益事業

新日本フィルは公益事業として様々な演奏活動を実施しています。

一 演奏会の開催

音楽監督クリスティアン・アルミンクを中心とした指揮者陣との充実した演奏は、音楽ファンの皆様、マスコミ関係の皆様から高い評価をいただいております。

<定期演奏会>

昨年度はトリフォニー・シリーズ第1夜7回、第2夜7回、合計14回、サントリーホール・シリーズは計7回行いました。トリフォニー・シリーズですが、クリスティアン・アルミンク指揮で5月に演奏機会の少ないマラーの「嘆きの歌」（当日の公演はレコーディングも致しました）を取り上げました。また新日本フィルの40周年を祝う中で、10月の定期演奏会で500回を迎え、ドミンゴ・インドヤンの指揮により1972年の結成記念公演と同じベートーヴェンの「英雄」を演奏いたしました。当日会場のすみだトリフォニーホールには、日本フィルハーモニー交響楽団からお祝いの花もいただきました。

もう一つの定期演奏会シリーズのサントリーホール・シリーズは、1夜1回の公演となっており昨年度は7公演実施しました。クリスティアン・アルミンク、ダニエル・ハーディング、インゴ・メッツマッハーを中心としたプログラムでしたが、11月の公演では、平成23年3月の公演でダニエル・ハーディング指揮により演奏する予定でありましたストラヴィンスキーの「春の祭典」を取り上げました。3.11で中止となった公演の演目を取り上げたこともあり、色々な思いを胸に聴かれた方も多かったのではないのでしょうか。

両シリーズともクリスティアン・アルミンクが音楽監督就任当初から打ち出してきた意図、コンセプトのあるプログラムを中心に、そして聴衆の皆様のニーズにも応えたプログラムになったのではないかと思います。

<新・クラシックへの扉～金曜・土曜午後2時の名曲コンサート>

このシリーズは、多くの皆様にまずクラシック音楽を楽しんでいただき、クラシック音楽の世界へ足を踏み入れていただく一歩となるよう、クラシック音楽の普及ということを強く意識しています。昨年度は金曜・土曜日の公演を合わせて18回の公演を行いました。7月は三ツ橋敬子氏、8月に山田

和樹氏と人気、実力とも評判の若手の指揮者が登場しました。また海外の指揮者では台湾のリウ・シャオチャ氏が初めて日本のオーケストラに登場。12月の第九を指揮し好評を得ました。また他には聴衆の皆様、楽団にも、新日本フィルの公演ではお馴染みになっているヴォルフ＝ディーター・ハウシルト氏、デリック・イノウエ氏が登場するなど、多くの名曲がフランチャイズの「すみだトリフォニーホール」に鳴り響きました。

<室内楽シリーズ>

すみだトリフォニーホールの小ホールにて6公演実施。楽器一つ一つに焦点があたり、オーケストラでの公演とはまた違った面白さを楽しんでいただいております。演奏会終了後に実施している「ワンコインパーティー」はご参加いただいた方と楽員の交流の場としてすっかり定着しています。公演後のお客様と出演者との楽しい会話風景がおなじみとなりました。定期演奏会のような大きなシリーズではありませんが、音楽ファンを着実に増やす公演と自負しています。

<特別演奏会>

自主公演では定期演奏会など上記の公演とは別に、事業スタッフがそれぞれ工夫を凝らし、個性豊かな演奏会の企画を練り「特別演奏会」として実施しております。定番となっております春の「親子コンサート」、夏の「サマー・コンサート」、年末の「第九」、1月の「ニューイヤーコンサート」に加え、昨年度は2回目となります「年越しコンサート」（ジルベスター・コンサート）を行いました。「第九」公演は新・クラシックの扉と同じ、リウ・シャオチャ氏の指揮により、全公演ともほぼ満員となりました。また、「年越しコンサート」は、墨田区文化振興財団よりご支援・ご協力もあり始めたコンサートですが、前回に続き宮川彬良氏のプロデュースにより、大変好評をいただき、多くの皆様とトリフォニーホールで新年を迎えました。そして新年恒例の「ニューイヤーコンサート」ではお馴染みの光景になりました獅子舞、鏡割り、振る舞い酒、晴れ着姿で新春ムード一杯となりました。

また、昨年度の特筆事項といたしまして、楽団創立40周年を記念しての中国ツアーがございました。

多くの企業、個人の方からのご協賛金、また文化庁からの助成金を得ることができ実現しましたが、いつもと違う環境の中で、普段の演奏を披露するというを一昨年に続き海外で出来たことは楽団にとり大きな刺激となりました。

実施には困難を伴う場面もありましたが、中国の関係者の皆様のご協力を得て、公演後には聴衆の方からお礼状もいただくなど喜んでいただけました。日中国交回復40周年の年に、草の根の親善大使として国際交流にも貢献できたのではないかと思います。

二 委託演奏会への出演

日本に音楽文化を普及・発展させるという新日本フィルの事業目的を実現するために自ら企画を立てて音楽をお届けしていますが、それが全て聴衆の皆様が求めているものと一致しているとは限りません。また新日本フィルが独自に演奏会を企画するだけでは、財政的な困難さが伴い、多くの方々に音楽を届けることには限界があります。そのため全国各地の公共及び民間のホール、一般企業、その他コンサート制作会社などから委託を受けて多くの演奏活動を行うことによって音楽文化の普及・発展に努めています。こうした活動は、

楽団が演奏料収入を得て、楽団の運営を維持するという経済的な面ももちろんありますが、日本中津々浦々、また国境を越えて新日本フィルの音楽をお届けするために大切な活動方法となっています。昨年度は、新潟、山形、千葉、埼玉、東京、神奈川、長野、岐阜、愛知、三重、大阪、鳥根、長崎の13都市で実施し、80回を数える公演に出演しました。依頼をいただいた団体と相談しながら、自主公演とはまた違った形で音楽の普及に努めました。

三 アウトリーチ活動

新日本フィルはアウトリーチ活動として青少年へのクラシック音楽の普及のため、また様々な事情でコンサートホールにご来場いただけない方にクラシック音楽を楽しんでいただくため、コンサートホールのステージだけでなく、ホールから飛び出して様々なところで多くの演奏を行っています。定期公演などの日頃の演奏活動もありますが、各自治体を中心に出演にかかる費用をご支援いただきながら、弦楽四重奏など小編成のものを主体とし多くの楽団員が参加し、クラシック音楽の魅力を伝えています。(※)

活動の内容といたしまして、病院、福祉施設等に楽団員が伺い、音楽とお話でお楽しみいただいている小編成でのコンサートを東京都墨田区、岐阜県可児市、三重県、佐世保市で行い、墨田区では加えて、フルオーケストラでの編成で小中学生を対象としたオーケストラ鑑賞教室、トリフォニーホールへ区民を招いてのコミュニティー・コンサートを昨年はファン感謝コンサートとして実施しました。また、楽団員による青少年を中心とした演奏指導を墨田区、三重県津市、長崎県佐世保市、岐阜県可児市で実施いたしました。

こうした活動に対する要請は年々高まっており、新日本フィルにとって、また日本のオーケストラにとって、「オーケストラの存在意義」、「日本でオーケストラというものが本当に定着したのだろうか、あるいはするのだろうか」ということが評価される際に一つのポイントになるのではないかと感じております。

(※) 依頼主から要請を得ての活動が中心となっていますので出演の形態は「委託公演」に含まれますが、草の根の社会貢献活動として「委託公演」とは別に取り上げています。「二」の「委託公演」が社会貢献を目的としていない活動であることを意味しているものではありません。

2-2 収益事業

今まで述べました活動は公益財団法人としての公益事業としての活動ですが、新日本フィルでは、チケット販売の受託業務とグッズの販売を収益事業として行っています。

チケット販売の受託業務は、すみだトリフォニーホールのチケットセンターの業務受託が2年目となり新日本フィルの公演以外でも墨田区文化振興財団の企画公演など、様々なチケットをご購入いただきました。

また、従来から行っているCD、新日本フィルロゴ入りバッグなどのグッズ販売は、主催公演時を中心にすみだトリフォニーホールやサントリーホールなどで行う他、楽団ホームページのシステムからも販売を行いました。

3. 運営状況

3-1 決算内容

平成24年度の決算についてですが、財務諸表は後ろに掲載しておりますが、正味財産増減計算書のフローの数字で見ますと23年度期末に受けました緊急支援を除いた数字との比較で対前年度比、経常収益は約50百万円増加いたしました。一方で経常費用は中国公演や40周年の記念公演等増加要因がありましたが、僅かではあります前年度から減少することが出来たため、収支においても約50百万円改善いたしました。

また事業収益においては平成23年度の788百万円から849百万円と61百万円の増加となりましたが、主要な収入項目の入場料収入、委託演奏会収入、協賛金収入いずれも増加となり、特に協賛金は中国公演があったことが増加に繋がりました。また2年目となりましたチケット販売の受託事業収入も前年対比で増加することができました。

寄附金・助成金につきましては、昨年比65百万円減少しておりますが、その大きな部分は一昨年期末に受けました緊急支援額で、それを除いて考えますと法人、個人の皆様からの民間支援は増加しており、また文化庁からは中国公演に対する助成金もいただき減少を最小限に留めることができました。

一方費用の項目においては、事業費の増加は、公演を多くこなしたことが主な要因で、管理費を抑える努力を行いました結果、先に述べましたように合計の経常費用では前年度を若干ですが減少することができました。

その結果、正味財産は27百万円の増加し、期末残高は62百万円になりました。

<直近2期 財務状況比較>

■貸借対照表の要旨

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

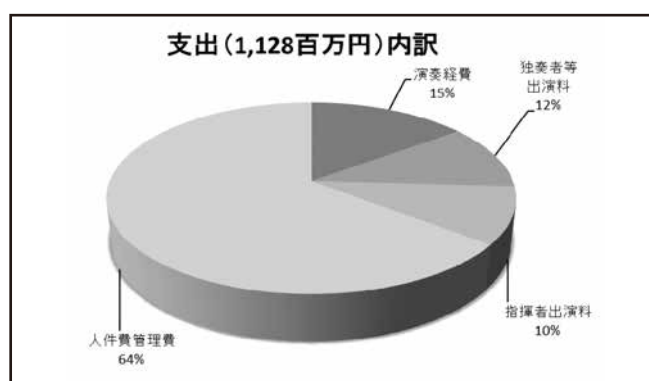
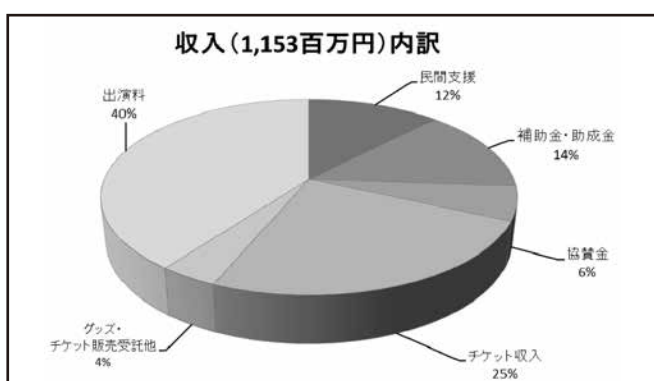
科 目	24年3月期	25年3月期	前期比増減	科 目	24年3月期	25年3月期	前期比増減
<資産の部>				<負債の部>			
流動資産	249,581	248,975	▲606	流動負債	231,700	240,155	8,455
（うち現預金）	101,214	102,121	907	固定負債	106,475	100,624	▲5,851
固定資産	123,351	153,991	30,640	（うち退職給付引当金）	106,475	100,624	▲5,851
（うち基本財産）	100,000	100,000	0	負債合計	338,175	340,780	2,605
（うち特定資産）	12,701	38,144	25,443	<正味財産の部>			
（うちその他資産）	10,649	15,847	5,198	一般正味財産	34,757	61,053	26,296
				正味財産合計	34,757	62,186	27,429
資産合計	372,933	402,966	30,033	負債・正味財産合計	372,933	402,966	30,033

(単位：千円)

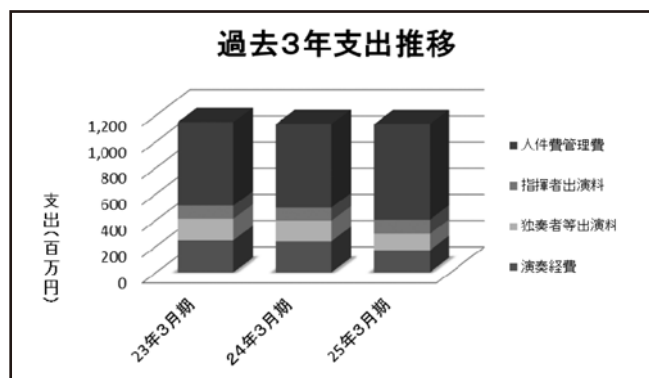
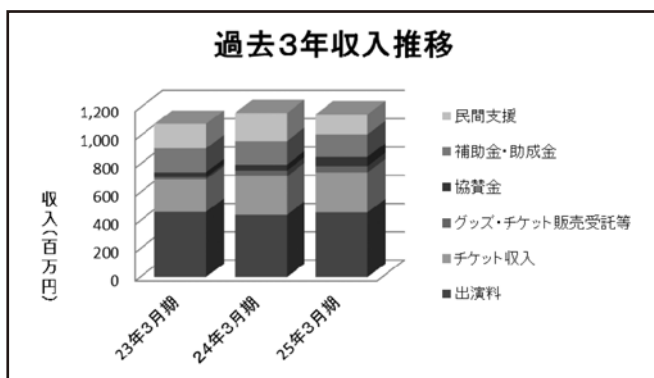
科 目	24年3月期	25年3月期	前期比増減	科 目	24年3月期	25年3月期	前期比増減
基本財産運用益	28	25	▲3	雑収益	8,805	2,495	▲6,310
受取会費・寄附金等	365,791	301,192	▲64,599	経常収益合計	1,163,081	1,153,489	▲9,592
（うち民間支援）	198,391	141,865	▲56,526	事業費	1,019,072	1,033,716	14,644
（うち補助金・助成金）	167,400	159,327	▲8,073	管理費	111,622	95,279	▲16,343
事業収益	788,456	849,779	61,323	経常費用合計	1,130,694	1,128,996	▲1,698
（うちチケット収入）	272,497	283,333	10,836	当期経常増減額	32,387	24,493	▲7,894
（うちコンサートへの協賛金）	41,619	65,210	23,591	経常外増減	▲17,531	1,803	19,334
（うち出演料）	441,670	459,175	17,505	当期正味財産増減	14,856	26,296	11,440
（うちチケットセンター業務）	26,769	31,333	4,564				
（うちグッズ販売収益）	—（※）	5,645	5,645				
（うち著作物収益）	4,715	3,099	▲1,616				

(※) 24年3月期までは、グッズ販売収益は雑収益に含む。

平成25年3月期 収入・支出構成内訳



平成25年3月期 過去3年収支推移



3-2 チケット販売実績・公演来場者について

いつも新日本フィルのコンサートにご来場いただきありがとうございます。

自主公演についての来場者数は東日本大震災のありました平成22年度から2年連続で前年度実績を上回りました。また公演回数も楽団創立40周年の記念公演、中国公演があったこともあり例年より多くの公演を行いました。自主公演の入場者については、公演によって波がありましたが、近隣ホテルとタイアップしたり、公演後に出演者も参加してのワンコイン（500円）パーティーを行ったりなど、少しでも音楽を楽しんでいただき、またコンサートに足を運んでいただけるよう工夫を凝らしました。また、ライフスタイルの多様化に合わせて導入したチケット・マイプラン、金、土曜日の2公演になった新・クラシックへの扉もお客様に浸透し定着いたし

ました。また特別演奏会も個別には券売に苦戦したのありますが、ご来場者の皆様には好評をいただけたいと思います。

委託演奏会については、ここ数年、回数が減少しておりましたが前年度は久しぶりに出演回数が80回を超えました。自主・委託公演共に前年度の回数を上回り、それに伴い新日本フィルの演奏を聴かれた方は19万人と、平成22年度、23年度を大きく上回ることができました。チケットをご購入いただいている皆様が公演情報を得る手段につきましては、楽団HPをご覧になるなど、インターネットからの情報が一般化していることから、そのニーズに応えるべくシステムの更新を図っていくなど、更に多くの方に

新日本フィルの公演にご来場いただけるよう環境を整えていきたいと思っています。

過去3年 コンサート入場者実績

	平成23年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期	
	公演回数	来場者数	公演回数	来場者数	公演回数	来場者数
定期演奏会（トリフォニー）	(※1) 15	19,902	16	22,560	14	18,708
定期演奏会（サントリー）	(※1) 7	10,428	8	13,027	7	11,435
新・クラシックへの扉	16	22,117	14	19,733	18	25,579
室内楽シリーズ	5	1,047	9	2,073	6	1,252
その他特別演奏会	6	9,502	12	16,723	16	22,475
自主演奏会計	49	62,996	59	74,116	61	79,449
委託演奏会計(※3)	(※1) 75	92,646	(※2) 70	90,081	81	114,460
総計	124	155,642	129	164,197	142	193,909

(※1) 震災によるトリフォニー定期1回、サントリー定期1回、委託公演2回の中止公演を除く。

(※2) 震災による公演中止1回を除く。

(※3) 多摩定期及びレコーディングを含む。入場者数は主催者情報による

3-3 寄附金動向

新日本フィルの財政を支えている大きな部分に国、自治体から公的助成、民間団体からの助成、そして企業、個人の皆様からの寄附金がございます。毎年、年間収入のうちの3割程度がそうした支援金となっております。昨年度もその構成比に大きな変化はなく、年間総収入約12億円のうち、国、自治体、民間団体から1億5,900万円を補助金・助成金として、民間企業、個人の皆様から1億4,100万円を賛助会費などの寄附金として支援いただきました。

「決算の内容」でご説明の通り、一昨年度は、期末に緊急支援を受けましたので、その分昨年度は大きく減額しましたが、それを除きますと民間からのご支援では対前年比を上回っております。ただ個人の方では「維持会」、法人では、

地元企業の「すみだの会」が減少しました。「維持会」は寄付をいただいている人数においては一番多く、法人の「すみだの会」は地元墨田区の企業にご賛同いただいているものですので、改めて多くの方々に支援していただけるよう努めて参ります。一方で昨年8月より行いました。

「ハープ」購入のための募金活動では400名を超える方々からご寄附をいただき、お蔭様で新しいハープを購入することができました。新日本フィルの活動にご賛同いただき、支えていただいている多くの皆様に深く御礼を申し上げます。またパトロネージュ活動といたしましても、税額控除制度など、寄付税制の特典を生かし、また様々な媒体を利用した募金活動など、工夫を凝らしていきたいと思っております。

パトロネージュ会員動向(※1)

パトロネージュ内訳	平成23年3月末時点		平成24年3月末時点		平成25年3月末時点		増減	
特別支援企業	10社1団体		9社1団体		7社1団体		▲2	
賛助会員								
（法人）	82社		86社		87社		+1	
（個人）	241名		249名		250名		+1	
維持会員	494名		499名		462名		▲37	
すみだの会								
（法人）	60社		60社		56社		▲4	
（個人）	234名		234名		235名		+1	
合計(※2)	142社	969名	146社	982名	143社	947名	▲3社	▲35名

(※1) 会員の数につきましては、ご寄附をいただく時期のいずれで同一年度内に未入金の方を含みます。

また、複数の会に入っている方も上記の数は延べ数です。

(※2) 法人は賛助会とすみだの会、個人は賛助会、維持会、すみだの会の合計

4. 今年度（平成25年度）について

今年度の事業につきましては、自主公演、特別演奏会、教育プログラム、依頼公演という大きな柱は変わりません。自主公演につきましては、7、8月は音楽監督クリスティアン・アルミンクが音楽監督として最後のシーズン、9月からは新しい体制でのシーズンとなります。

まず8月までですが、現音楽監督アルミンクのフィナーレとして、4、7、8月に音楽監督のまとまった公演があります。7、8月を音楽監督との最後の演奏会の月間として盛り上げていきます。8月のトリフォニー定期では、音楽監督に就任した時に演奏したマーラーの3番を再び取り上げます。

9月からの新シーズンでは、“Conductor in residence”としてインゴ・メッツマッハー、“Music Partner of NJP”としてダニエル・ハーディングの2トップ体制になります。新シーズンのテーマとして「ワーグナー&ブラームス」を掲げています。

具体的なプログラムとしては、メッツマッハーがオープニングでワーグナーの『ワルキューレ』第1幕、ハーディングにつきましては年度上、次年度になりますがブラームスの交響曲を取り上げていきます。

アルミンク時代には企画内容と演奏内容で評価を得てきましたが、新しい二人のタイトル・ホルダーには音楽面の充実を意識してもらい二人にとっては得意なもの、オーケストラにとっては、世界でトップクラスと言っているこの二人に指揮者との共演によって試金石と成り得るものとしてプログラムを組みました。客演指揮者は、大野和士氏、下野竜也氏、ジャン＝クリストフ・スピノジ氏、ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト氏、アンドリス・ポーガ氏が既に新日本フィルとの共演のある指揮者として、新しく共演する指揮者として準・メルクル氏が登場します。

自主公演のもう一つのシリーズであります「新・クラシックへの扉」では、クラシック音楽の普及という目的をより鮮明に打ち出したプログラムをとなっており、定期公演との差別化を図るとともに、多くの方がクラシック音楽の世界へ入りやすいように誘います。

定期演奏会、新・クラシックへの扉、室内楽シリーズ、そして特別演奏会とバラエティに富んだ公演により多くの皆様に足を運んでいただけますよう、チケットの販売につきましては、新規の定期会員の獲得の努力はもちろん、昨今の顧客層、ニーズの変化も意識して、チケットマイプラン（5枚以上のセット）など、ご購入の組み合わせを工夫するなど、引き続き集客アップにつなげていきます。またインターネットからの購入が主流となっていますので、これらの充実を急いで図らなくてはならないと考えています。

チケットの販促にも直接つながるプロモーション活動に関

しては、タイトル・ホルダーが二人とも去年のザルツブルク音楽祭の様子が放送されましたが、ハーディングは秋にスカラ座で来日するなど二人とも露出度の高い指揮者ですので、追い風になるようにしていきたいと思います。

特別演奏会は、墨田区と一緒に進めてきた親子コンサート、サマー・コンサート、第九、ニューイヤークンサート、そして一昨年から始めました年越しコンサートなど大きな枠組みは変わっていませんが、日本でオーケストラの存在意義は何なのか、公益性とは何なのかということをより意識した活動をしていかななくてはいけないことを含めて、特別演奏会がどのような役割を担うのか、どういうことを狙っているのかということも改めて考えていきます。

委託演奏会については、昨年度多くの回数に出演いたしましたが、今年度につきましてもフランチャイズしている墨田区を筆頭に、三重県の津市、岐阜県の可児市、長崎県の佐世保市などの地域拠点活動を中心に行います。タイトル・ホルダーの二人の指揮者に関しては、サントリーホール・シリーズでのプログラムを委託公演としても実施することになっています。

また今年度はオペラ、バレエという大きなプロジェクトの仕事も頂いておりますが、全体としてはまだ委託公演を増やし、充実した活動を続けていきます。

収益事業は、チケット受託販売事業の促進により収入が増えていますので、公益事業をより充実させるため券売の充実にも力を入れていきたいと考えています。またグッズに関しましても、今までのものを継承している形ですが、墨田区内にフランチャイズしていること、また東京スカイツリーにより街並みの変化などもありますので、音楽監督の体制変化なども併せて、どうしたものかより喜んでいただけるか、相応しいか、再度検討する余地はあるかと考えています。

今後の課題ですが、音楽監督がいない時期がしばらく続きますので、新しい理念、現在の新日本フィルの伝統と目標などをもう一度再構築する時が来ています。

オーケストラは、やはり指揮者ではなくオーケストラとして評価されて生きていかななくてはなりませんので、財政的には厳しい環境が続きますが、オーケストラの活性化のために事業活動面と財務面の両輪がうまくマッチするようにしていきたいと思います。

もう一つの大切な事業であります「青少年に対する音楽の普及」については今年度も、墨田区、三重県、岐阜県、長崎県において、それぞれ地元からのご支援をいただきながらの活動が中心になりますが、社会貢献活動への出演要請は、公的な助成だけではなく、民間企業の社会公演活動とのタイアップによることも増えてきており、オーケストラの将来の存在意義を問われる重要な部分ですので、そうした意識のもと活動を続けていきます。

5. 演奏の記録

5-1 自主演奏会

(1) 定期演奏会 第492回～第505回
(合計21回)

■ トリフォニー・シリーズ 計14回

- ・ 4月13日(金) / 4月14日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：マティアス・ヴォロング(*)
スーク／組曲『おとぎ話』op.16
ドヴォルジャーク／ヴァイオリン協奏曲イ短調op.53(*)
ヤナーチェク (P.ブレイナー編) / 『イエヌーファ』組曲 (日本初演)
- ・ 5月18日(金) / 5月19日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ソプラノ：天羽明恵(*)
アルト：アネリー・ペーボ(*)
テノール：望月哲也(*)
バリトン：イシュトヴァーン・コヴァーチ(*)
ボーイソプラノ、ボーイアルト：東京少年少女合唱隊メンバー(*)
(指導：長谷川久恵*)
合唱：栗友会合唱団(*) 合唱指揮：栗山文昭(*)
ドヴォルジャーク／交響詩『金の紡ぎ車』op.109
マーラー／嘆きの歌 (初稿版) (*)



『嘆きの歌』カーテンコールより

- ・ 7月6日(金) / 7月7日(土)
指揮：ダニエル・ハーディング
シューベルト／交響曲第7(8)番短調『未完成』D.759
R.シュトラウス／交響詩『英雄の生涯』op.40
- ・ 9月14日(金) / 9月15日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ソプラノ：リーサ・ラーション(*1, 2)
バリトン：ロベルト・ホルツァー(*2)
合唱：栗友会合唱団(*) 合唱指揮：栗山文昭(*2)
ブリテン／イリュミナシオンop.18(*1)
ブラームス／ドイツ・レクイエムop.45(*2)
- ・ 10月26日(金) / 10月27日(土)
指揮：ドミンゴ・インドヤン
ワーグナー／楽劇『トリスタンとイゾルデ』前奏曲と愛の死
ベートーヴェン／交響曲第3番変ホ長調『英雄』op.55
- ・ 12月7日(金) / 12月8日(土)
指揮：ダニエル・ハーディング
ヴァイオリン：崔文洙(*)
ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調op.77(*)
ショスタコーヴィチ／交響曲第10番ホ短調op.93
- ・ 1月11日(金) / 1月12日(土)

指揮：インゴ・メッツマッハー
J.シュトラウスⅡ／ウィーンの森の物語op.325
ヤナーチェク (マッケラス編) / 歌劇『利口な女狐の物語』組曲
R.シュトラウス／アルプス交響曲op.64

以上 会場：すみだトリフォニーホール

■ サントリーホール・シリーズ 計7回

- ・ 4月19日(木)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ピアノ：原田英代(*)
ヴェルディ／歌劇『ルイザ・ミラー』序曲
カゼッラ／スカルラッティアーナop.44(*)
レスピーギ／リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲
レスピーギ／交響詩『ローマの松』
- ・ 5月25日(金)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：ダヴィド・グリマル(*)
エスケシュ／ヴァイオリン協奏曲 (2009) (*) 日本初演
ブラームス／交響曲第4番ホ短調op.98
- ・ 6月29日(金)
指揮：ダニエル・ハーディング
ワーグナー／歌劇『タンホイザー』序曲-ヴェヌスベルクの音楽 (パリ版)
エルガー／交響曲第2番変ホ長調op.63
- ・ 9月7日(金)
指揮：クリスティアン・アルミンク
フランツ・シュミット／歌劇『ノートル・ダム』op.2より
第1幕：序奏、間奏曲、謝肉祭の音楽
モーツァルト／交響曲第31番二長調『パリ』K.297 (300a)
ドビュッシー／管弦楽のための映像
- ・ 11月28日(水)
指揮：ダニエル・ハーディング
チャイコフスキー／交響曲第4番ヘ短調op.36
ストラヴィンスキー／バレエ音楽『春の祭典』
- ・ 1月19日(土)
指揮：インゴ・メッツマッハー
シューベルト／交響曲第7(8)番短調『未完成』D.759
ブルックナー／交響曲第9番二短調 (1951年 ノーヴァク版)



『嘆きの歌』カーテンコールより

- ・ 3月25日(月)
指揮：下野竜也
オーボエ：セリーヌ・モワネ(*)
J.S.バッハ (レーガー編) / 『おおんよ、汝の罪の大いなるを嘆け』BWV622
R.シュトラウス／オーボエ協奏曲二長調(*)
ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調op.92

以上 会場：サントリーホール

(2) その他の自主演奏会の開催 (合計40回)

■新・クラシックへの扉 第20回～第28回

金・土合計18回

金曜午後2時の名曲コンサート

土曜午後2時の名曲コンサート

- ・ 4月6日(金) / 4月7日(土)
指揮：下野竜也
ソプラノ：半田美和子(※)
グリーグ/序曲『秋に』 op.11
グリーグ/組曲『ホルベアの時代より』 op.40
グリーグ/『ペール・ギュント』第1組曲op.46、第2組曲op.55(※)
- ・ 5月11日(金) / 5月12日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ワーグナー/歌劇『さまよえるオランダ人』序曲
ブリテン/4つの海の間奏曲op.33a
ドビュッシー/『海』-3つの交響的素描
スメタナ/連作交響詩『わが祖国』より モルダウ
- ・ 6月15日(金) / 6月16日(土)
指揮：デリック・イノウエ
チェロ：川上 徹(※)
ヴァイオリン/篠崎友美(※)
モーツァルト/交響曲第40番ト短調K.550
R.シュトラウス/交響詩『ドン・キホーテ』 op.35(※)
- ・ 7月13日(金) / 7月14日(土)
指揮：三ツ橋敬子
チャイコフスキー/バレエ組曲『眠りの森の美女』 op.66a
チャイコフスキー/交響曲第6番ト短調『悲愴』 op.74
- ・ 8月10日(金) / 8月11日(土)
指揮：山田和樹
ピアノ：萩原麻未(※1)
オルガン：室住素子(※2)
ラヴェル/亡き王女のためのパヴァーヌ
ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調(※1)
サン＝サーンス/交響曲第3番ハ短調『オルガン付』(※2)
- ・ 8月31日(金) / 9月1日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ピアノ：弓張美季(※)
シューマン/ピアノ協奏曲イ短調op.54(※)
ベートーヴェン/交響曲第6番ヘ長調『田園』 op.68
- ・ 12月21日(金) / 12月22日(土)
指揮：リュウ・シャオチャ(呂紹嘉)
ソプラノ：天羽明恵
アルト：加納悦子
テノール：永田峰雄
バリトン：キユウ・ウォン・ハン
合唱：栗友会合唱団 合唱指揮：栗山文昭
ベートーヴェン/交響曲第9番二短調『合唱付き』 op.125
- ・ 2月8日(金) / 2月9日(土)
指揮：ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト
J. S バッハ/管弦楽組曲第3番二長調BWV1068
シューベルト/交響曲第8番ハ長調『グレート』 D.944
- ・ 3月8日(金) / 3月9日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク
ヴァイオリン：シン・ヒョンス(※)
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲二長調op.77(※)
ドヴォルジャーク/交響曲第8番ト長調op.88

以上 会場：すみだトリフォニーホール

<特別演奏会>

定期演奏会のような年間のシリーズではなく、単発、短期間の公演として以下の公演を実施しクラシック音楽の普及に努めました。

■特別演奏会 “親子コンサート” 計1回

- ・ 4月28日(土)
指揮：下野竜也
ゲスト：古今亭志ん輔
H.ショア/映画『ロード・オブ・ザ・リング』より
E.シュトラウス/ポルカ『パワー全開』
アンダーソン/母さんの口笛 (Mother's Whistler)
フォーレ/『ペレアスとメリザンド』組曲より「シチリアーナ」
服部 正(鈴木隆太編) /ラジオ体操第1



Photo: 大塚道治

オーケストラ〈オモシロ探偵団〉より

- 古今亭志ん輔コーナー
音楽物語『ロメ雄くんとジュリ恵ちゃん』(杉浦邦弘・編 五島勲二・脚本)
シベリウス/『カレリア』組曲より「行進曲風」
ブリテン/『シンプル・シンフォニー』より第1楽章「騒がしいブルー」
ワーグナー/歌劇『ローエングリン』より「エルザの大聖堂への入場」
坂田晃一/映画『コクリコ坂から』より「さよならの夏」
チャイコフスキー/交響曲第4番ヘ短調より第4楽章「フィナーレ」

会場：すみだトリフォニーホール

■新日本フィル創立40周年特別演奏会 計2回

- ・ 5月5日(土・祝) 会場：サントリーホール
- ・ 5月7日(月) 会場：すみだトリフォニーホール
指揮：ダニエル・ハーディング
メゾ・ソプラノ：藤村 実穂子(※1)
ピアノ：三輪 郁(※2)
R.シュトラウス/組曲「町人貴族」 op.60(※2)
ワーグナー/女声のための5つの詩「ヴェーゼンドク歌曲集」 op.91(※1)
(第1曲～第4曲＝モットル編)
マーラー/交響曲第1番二長調「巨人」



Photo: 野田若葉

創立40周年記念公演より

■特別演奏会 “SUMMERコンサート” 計1回

- ・7月29日(日) 会場: すみだトリフォニーホール
指揮: 小松長生
ナレーション: 堀江一真
ヨーゼフ・シュトラウス/ポルカ「休暇旅行で」
グリーグ/「パール・ギェント」第1組曲より「朝」「山の魔王の宮殿にて」
アンダーソン/サマー・スカイズ
レスピーギ/リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲より
『イタリアーナ』
ガーシュウィン/キューバ序曲
アンダーソン/セレナータ
アンダーソン/クラシカル・ジューク・ボックス
ヴィラ=ロボス/ブラジル風パッサム第2番より「トッカータ(カイピラの小さな汽車)」

■新日本フィルハーモニー交響楽団&久石譲 ペンション・ファンド・コンサート 計1回

- ・8月4日(土) 会場: すみだトリフォニーホール
指揮・ピアノ: 久石 譲
コーブランド/市民のためのファンファーレ
ガーシュウィン/キューバ序曲
アイブズ/答えのない質問
久石譲/Symphonic Variation “Merry-Go-Round”(映画「ハウルの動く城」より)
One Summer's Day(映画「千と千尋の神隠し」より)
Tango X.T.C
ジョン・アダムス/ロラブルーザ(1995)
バーバー/弦楽のためのアダージョ
バーンスタイン/「ウェスト・サイド・ストーリー」より
シンフォニック・ダンス

■特別演奏会 中国ツアー2012 計3回

- ・8月17日(金) 会場: 大連公演①(大連人民文化俱樂部)
- ・8月18日(土) 会場: 大連公演②(大連人民文化俱樂部)
- ・8月19日(日) 会場: 瀋陽公演(遼寧劇場)
指揮: 小泉和裕
独奏: 崔文洙(ヴァイオリン)(*)
チャイコフスキー/歌劇「エフゲニー・オネーギン」より
『ボロネーズ』
陳剛/何占豪/ヴァイオリン協奏曲「梁山伯と祝英台」(*)
バガニーニ/バイツェルの「水車小屋の娘」の「うつろな心」による
変奏曲作品38、MS44
ドヴォルジャーク/交響曲第9番ホ短調作品95「新世界より」



大連人民文化俱樂部公演より

■第九特別演奏会 計3回

- ・12月23日(日) 会場: すみだトリフォニーホール
- ・12月24日(祝・月) 会場: Bunkamuraオーチャードホール
- ・12月25日(火) 会場: サントリーホール
指揮: リュウ・シャオチャ(呂紹嘉)
ソプラノ: 天羽明恵 アルト: 加納悦子
テノール: 永田峰雄 バリトン: キュウ・ウォン・ハン
合唱: 栗友会合唱団 合唱指揮: 栗山文昭

- レーガー/7つの宗教的民謡より『おおいとときみどり見、やさしきイエス』
ベートーヴェン/劇音楽「エグモント」序曲op.84
ベートーヴェン/交響曲第9番二短調「合唱付き」op.125

■特別演奏会 ジルベスター・コンサート 計1回 “超!年越しコンサート2012→2013”

- ・12月31日(月)
指揮・ピアノ・司会: 宮川彬良 ヴァイオリン: 古澤 巖(*)
合唱: 栗友会合唱団(*) 合唱指揮: 栗山文昭
合唱副指揮: 横山琢哉



Photo: 大窪道治

超!年越しコンサート2012→2013

- 宮川彬良/風のオリヴァストロ
いずみたく/見上げてごらん夜の星を
服部良一/東京ブギウギ 服部良一/東京の屋根の下
鈴木庸一/東京ドドンパ娘
宮川泰/ウナ・セラ・ディ東京
バーンスタイン/「ウェスト・サイド・ストーリー」よりアメリカ
山田耕筰/からたちの花(*)
ラフマニノフ/交響曲第2番第3楽章より「愛のシンフォニー」(*)
ガーシュウィン/ガーシュウィン・メドレー(*)
宮川泰/宇宙戦艦ヤマト(*)
宮川彬良/雪のひとひら〜雨のしずく〜海と太陽
(構成: 高橋奈都子 朗読: 宮川安利)
深い河(黒人霊歌)(*)
宮川彬良/シンフォニック・マンボNo.5(*)
宮川泰/若いってすばらしい(*)
ディズニー・シンフォニック・パレード(*)
宮川彬良/マツケン・サンバII(*)

会場: すみだトリフォニーホール

■特別演奏会 ニューイヤーコンサート 計1回 “一年の計はお正月にあり〜Vol.8”

- ・1月3日(木)
指揮: 梅田俊明
司会: 田添菜穂子
チューバ: 佐藤和彦(新日本フィル・首席チューバ奏者)(*)
J.シュトラウスII/喜歌劇『こうもり』序曲
ヨーゼフ・シュトラウス/鍛冶屋のポルカ
E.シュトラウス/ポルカ・シュネル「テープは切られた」
J.シュトラウスII/美しく青きドナウ
J.シュトラウスII/エジプト行進曲
ヴォーン・ウィリアムズ/バス・チューバ協奏曲(*)
J.シュトラウスII/ワルツ「酒、女、歌」
ワーグナー/歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

会場: すみだトリフォニーホール

■特別演奏会 コンチェルトアンテ II

宮川彬良VS新日本フィルハーモニー交響楽団 計3回

- ・7月28日(土) 会場:文京シビックホール
- ・10月8日(月・祝) 会場:川口総合文化センター リリアメインホール^(※)
- ・3月3日(木) 会場:三重県文化会館
音楽監督・指揮・ピアノ・司会:宮川彬良
ゲスト:ソン・シギョン^(※)(アンコールのみ特別出演)
編曲:宮川彬良 構成:新井鷗子
宮川彬良/風のオリヴァストロ
ラロ・シフリン/燃えよドラゴン
バリー・グレイ/サンダーバード
ハワード・グリーンフィールド/奥様は魔女
「テキーラ」
宮川彬良/アイネ・クライネ・タンゴムジーク
宮川彬良/シンフォニック・マンボ・ナンバー5
「メリー・ポピンズ」メドレー
「恋のパカンス」(ザ・ピーナッツ)
宮川彬良/音楽劇「ハムレット」より5つの主題
宮川泰/宇宙戦艦ヤマト

■室内楽シリーズ 全6回

オーケストラ曲に止まらず、小編成のアンサンブル曲を紹介するシリーズとして24年度は6回の公演を実施しました。

- ・4月17日(火)
ドヴォルジャーク/弦楽四重奏曲第12番へ長調『アメリカ』op.96
ブラームス/弦楽四重奏曲第2番イ短調op.51-2
 - ・6月14日(木)
ドホナーニ/弦楽三重奏のためのセレナードハ長調op.10
ブラームス/クラリネット五重奏曲短調op.115
 - ・10月24日(水)
ハイドン/弦楽四重奏曲第62番ハ長調『皇帝』op.76-3, Hob.Ⅲ:77
ベートーヴェン/弦楽四重奏曲第13番 変イ長調 op.130
 - ・12月4日(火)
ショスタコーヴィチ/弦楽四重奏曲第8番ハ短調op.110
チャイコフスキー/弦楽六重奏曲二短調『フィレンツェの思い出』op.70
 - ・1月29日(火)
ハイドン/フルート三重奏曲第1番～第4番(ロンドン・トリオ)
シューベルト/弦楽四重奏曲第13番イ短調『ロザムンデ』D.804
 - ・3月7日(木)
ドヴォルジャーク/三重奏曲ハ長調op.74
ベートーヴェン/七重奏曲変イ長調op.20
- 演奏:新日本フィルのメンバーによる
ブレイク:篠原英和(新日本フィル ヴァイオリン奏者)

会場:すみだトリフォニーホール 小ホール

(3) コミュニティー・コンサートへの出演(1回)^(※)

((公財)墨田区文化振興財団主催による墨田区民対象を無料招待するフルオーケストラでのコンサート)

- ・12月2日(月): (公財)墨田区文化振興財団のご協力で、前年度はすみだトリフォニーホールにおいてファン感謝コンサートとして演奏を楽しんで頂きました。

(※) 委託演奏会の公演回数に含んでおります。

(4) 福祉施設などを訪問しての出張ミニコンサートについて

(4)-1 すみだふれあいコンサート(東京都墨田区)

計20回実施

墨田区内の福祉施設・老人ホームに楽員を延べ60名派遣して、アンサンブルを楽しんでもらいました。

<訪問実績>

・7月18日	ろうけん隅田秋光園	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・7月23日	オウトピアみどり苑	ヴァイオリン、ギター	2名
・7月26日	亀沢のぞみの家	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン	5名
・8月3日	本所保健センター	ヴァイオリン、コントラバス	2名
・8月27日	墨田福祉作業所(七福作業所)	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン	5名
・10月9日	東京清風園	ファゴット、ピアノ	2名
・11月7日	梅若保育園	弦楽四重奏	4名
・11月15日	中川保育園(八広保育園)	弦楽四重奏	4名
・11月20日	すみだ福祉保健センター	弦楽四重奏	4名
・12月1日	たちばなホーム	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・12月9日	介護老人保健施設ベレール向島	チェロ、コントラバス	2名
・12月12日	同愛記念ホーム	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・12月14日	墨田区役所	弦楽四重奏	4名
・12月18日	ワクワク工房	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・12月19日	すみだふれあいセンター(福祉作業所・ことぶき作業所・ピア緑・江東橋保育園)	ヴァイオリン	2名
・12月20日	うめわか高齢者在宅サービスセンター	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・12月27日	さんさんプラザ	フルート、ギター	2名
・3月2日	ゆーとりあ内プラネタリウム	フルート、ギター	2名
・3月8日	墨田区役所 “平和祈念コンサート”	トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ	5名
・3月18日	なりひら高齢者在宅サービスセンター	弦楽四重奏	4名

(4)-2 おでかけコンサート(岐阜県・可児市)(2回)

岐阜県可児市の病院、養老・介護施設、乳幼児施設を訪問。普段、生の演奏を聴くことができない方々を中心に音楽を楽しんでいただき、ふれあいの時間を持ちました。

2回・計6か所に延べ8名の演奏家が出演し弦楽四重奏を行いました。



今渡公民館にて

<訪問実績>

・11月2日	児童館グリーンベア	弦楽四重奏	4名
・11月2日	春里公民館	弦楽四重奏	4名
・11月3日	今渡公民館	弦楽四重奏	4名
・2月11日	きらきらほし子育てサロン	弦楽四重奏	4名
・2月12日	広見小学校、ふれあいの里可児	弦楽四重奏	4名

(4)-3 「家へおいでよ!」(公募型コンサート・プレゼント企画)(岐阜県・可児市)(1回)

1回・計1か所延べ2名が参加。

「地域住民と演奏家(劇団員)との交流」に主眼を置く企画です。

可児市は弊団の他に文学座とも地域拠点契約を結んでいます。演奏を聴くだけでなく、公募という形をとることで企画提出をする方々との交流の時間を重要視しています。

<訪問実績>

・3月4日 久々利保育園 ヴァイオリン、ピアノ 2名

(4)-4 「ランチタイムコンサート」(長崎県・佐世保市)
(2回)

延べ2名が参加し、アルカスSASEBOジュニア管弦楽と一緒に指導している地元講師陣とのアンサンブル演奏会を行い、新日本フィル⇄地元講師、地元講師⇄地元観客、新日本フィル⇄地元観客という図式の下、大きな輪の中で交流を深めました。

<公演実績>

・4月23日 アルカスSASEBO 中ホール 弦楽四重奏
・2月25日 アルカスSASEBO 中ホール 木管五重奏

(4)-5 「ファミリーコンサート」(長崎県・佐世保市)

延べ2名が参加、アルカスSASEBOジュニア管弦楽と一緒に指導している地元講師陣との特に小学生を対象にしたアンサンブル演奏会を実施。地元小学生との交流を深めました。

<訪問実績>

・4月23日 佐世保市議会議場：対象/清水小学校5、6年生+市職員
弦楽四重奏(チェロがNJP)
・2月25日 木風小学校：対象/全校児童、地域住民
木管五重奏(クラリネットがNJP)



佐世保市議会議場にて

5-2 青少年に対する音楽の普及

(1) 墨田区・オーケストラ鑑賞教室 計4回

墨田区内の区立の小中学生を対象にコンサートホールでフルオーケストラの演奏を楽しんでいただきました。

・12月11日(火) 2回(小学生)
・1月25日(金) 2回(中学生)

会場：すみだトリフォニーホール

(2) 音楽授業への参加 計38回

墨田区内の小学校25校、中学校13校の音楽の授業に楽員延べ100人が参加しました。



業平小学校にて

<訪問実績>

・6月8日	第四吾嬬小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・6月21日	吾嬬第一中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・6月25日	緑小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・6月27日	中川小学校	フルート、ピアノ	2名
・6月28日	横川小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・6月29日	立花吾嬬の森小学校	打楽器、ヴァイオリン	3名
・7月2日	墨田中学校	フルート、ギター	2名
・7月9日	言問小学校	弦楽四重奏	4名
・7月10日	第一寺島小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3名
・7月11日	寺島中学校	トロンボーン	3名
・7月18日	向島中学校	打楽器	3名
・9月11日	第三寺島小学校	トランペット、ピアノ	2名
・9月19日	柳島小学校	打楽器	2名
・9月20日	吾嬬第二中学校	ヴィオラ、クラリネット、ピアノ	3名
・9月25日	小梅小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・10月3日	錦糸中学校	フルート、ギター	2名
・10月5日	文花中学校	トロンボーン	3名
・10月16日	外手小学校	チューバ、ピアノ	2名
・10月19日	梅若小学校	打楽器、ヴァイオリン	3名
・10月22日	業平小学校	チェロ、コントラバス、ピアノ	3名
・11月5日	錦糸小学校	トランペット、ピアノ	2名
・11月13日	隅田小学校	打楽器	2名
・11月20日	両国中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3名
・12月3日	第二寺島小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ファゴット、ピアノ	4名
・12月7日	八広小学校	ヴァイオリン、チェロ、ハーブ	3名
・12月13日	両国小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・12月18日	押上小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・12月19日	東吾嬬小学校	トランペット、ピアノ	3名
・1月17日	文花中学校夜間学級	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・1月22日	立花中学校	トランペット、ピアノ	2名
・1月23日	曳舟小学校	チェロ、ピアノ	2名
・2月2日	中和小学校	ファゴット、ピアノ	2名
・2月5日	第三吾嬬小学校	打楽器	2名
・2月13日	二葉小学校	チューバ、ピアノ	2名
・2月18日	菊川小学校	オーボエ、ファゴット	2名
・3月4日	鐘淵中学校	トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ	5名
・3月12日	本所中学校	弦楽四重奏	4名
・3月13日	竪川中学校	弦楽四重奏	4名

(3) 演奏指導(「演奏クリニック(企画名)」計173回

東京都墨田区、三重県、岐阜県可児市、長崎県佐世保市で数多くの演奏指導を実施しました。

- ・東京都墨田区の「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ」の演奏指導(110回、延べ294名参加)
- ・三重県在住・在勤の音楽に興味のある方を対象とした楽器指導(18回、延べ47名参加)
- ・「三重ジュニア管弦楽団」の指導(34回、延べ78人が参加)

- ・三重県の「ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ」の指導
(7回、延べ24人が参加)
- ・岐阜県・可見市内で活動する中学吹奏楽部を中心にした
楽器指導(1回、延べ3名参加)
- ・「アルカスSASEBOジュニア管弦楽」の指導
(3回、延べ19名参加)

(2) 委託演奏会

全国各地^(※1)の公共、民間のホール等^(※3)の要請を受け
るなど、81公演^(※2)に出演しました。

(※1) 公演実施地域：新潟、山形、千葉、埼玉、東京、神奈川、長野、岐阜、
愛知、三重、大阪、鳥根、長崎の13都市で実施

(※2) 内訳 一般公演 65 音楽教室 8
 ファミリー向け 2 オペラ 5 録音 1



可見市文化創造センター ala

現在活動拠点としているホール^(※2)



すみだトリフォニーホール



アルカスSASEBO (長崎県・佐世保市)



三重文化会館



パルテノン多摩

新日本フィルの事業内容等につきましては楽団HPで公開
しております。(http://www.njp.or.jp)

またこのアニュアルレポートは、新日本フィルの財団内で
承認され内閣府公益認定委員会に提出した「事業報告書」
「財務諸表」を基に、多くの皆様に楽団の活動をご説明し、
知っていただきたいとの思いから新日本フィル事務局において
別途書き下ろしました。

特別支援企業・特別支援団体・賛助会員・維持会員ご芳名 新日本フィルを支えるすみだの会 法人・個人会員ご芳名

(2013年6月現在)

特別支援企業

オリックス  鹿島 大和証券 
NOMURA フジサンケイグループ LAWSON

特別支援団体

公益財団法人 オリックス財団

賛助会 法人会員

アイエヌジーバンク エヌ・ヴィ 東京支店
 (株)AOKI ホールディングス
 (株)朝日新聞社
 有限責任 あずさ監査法人
 (株)アリスタゴラ・アドバイザーズ
 (株)イー・ステート・オンライン
 ウシオ電機(株)
 エームサービス(株)
 SMBC日興証券(株)
 SMK(株)
 (株)OSK
 大崎電気工業(株)
 (株)奥野設計
 オリックス(株)
 オリックス不動産(株)
 鹿島建設(株)
 (株)カナエ
 キッコーマン(株)
 (株)求龍堂
 KPMG 税理士法人
 (株)KPMG FAS
 (株)Kプロビジョン
 三協フロンテア(株)
 サントリーホールディングス(株)
 (株)資生堂
 スターツコーポレーション(株)
 住商セメント(株)
 住友ゴム工業(株)
 (株)世界貿易センタービルディング
 セントラル硝子(株)

ソニー(株)
 第一三共(株)
 (株)大京
 ダイキン工業(株)
 大興物産(株)
 (株)大和証券グループ本社
 中外製薬(株)
 THK(株)
 TTグローバル・アセットマネジメント(株)
 テルモ(株)
 (医社) 天宣会
 (株)電通
 (株)東京印書館
 東京ガス(株)
 東京商工会議所
 トヨタ自動車(株)
 虎門中央法律事務所
 トランスコスモス(株)
 (株)ドン・キホーテ
 長野計器(株)
 日油(株)
 日東不動産(株)
 (株)ニッポン放送
 (株)ニトリホールディングス
 日本シーカ(株)
 日本スタッドウエルディング(株)
 日本電気(株)
 日本ユニシス(株)
 野田喜産業(株)
 野村ホールディングス(株)

(株)ハナエモリ・オートクチュール
 林法律事務所
 阪和興業(株)
 パラマウントベッドホールディングス(株)
 (株)日立物流
 (株)ファミリーネット・ジャパン
 (株)ファンケル
 (株)フォンテック
 (株)フジクラ
 富士ゼロックス(株)
 (株)フジテレビジョン
 (株)不動テトラ
 (株)プロマックス
 (株)文芸社
 (株)ベネフィット・ワン
 (株)ボニーキャニオン
 (株)みずほコーポレート銀行
 (株)三井住友銀行
 三井不動産(株)
 三菱商事(株)
 (株)三菱東京UFJ銀行
 (株)宮本組
 森ビル(株)
 郵船ロジスティクス(株)
 UBS証券(株)
 ユニオンツール(株)
 ルートインジャパン(株)
 ローム(株)
 他1社

賛助会 個人会員

新宿区 東 祥弘様
 渋谷区 池田輝二郎様
 茅ヶ崎市 今田 喜久様
 チューリップ市 エイドリアン・T・ケラー様
 横浜市 大坪 克子様
 文京区 加藤 珠枝様
 藤沢市 兼坂 光則様

世田谷区 世田谷区 佐多 保彦様
 市川市 市川市 佐藤 元治様
 世田谷区 世田谷区 澤上 篤人様
 中央区 中央区 鈴木 道夫様
 足立区 足立区 中曽根秀岳様
 渋谷区 渋谷区 中山 恒博様
 横浜市 横浜市 錦織 雄一様

下野市 下野市 下野市 新島 健司様
 足立区 足立区 橋本 正己様
 野田市 野田市 堀 慶子様
 横浜市 横浜市 増田 幸央様
 文京区 文京区 松本 謙一様
 大田区 大田区 森 正勝様
 他2名様

あ	井上 賢二様	大谷 弥生様	加福 光一様	黒川 瑛様	佐藤 宏司様	鈴木 吉郎様
赤坂 芳子様	今西 至様	大野まゆみ様	亀井 敏行様	小池 一夫様	佐藤 真一様	鈴木佐和子様
安生 慶様	岩野 裕一様	岡崎 卓見様	唐木 昭様	小池 幸子様	佐藤 妙子様	鈴木 隆様
飯野 一子様	岩船 展子様	尾根 久子様	カリダ・ルンプラス様	小林 政雄様	佐藤 堯様	鈴木 直子様
池田 憲二様	宇津木奈保美様	岡田 邦明様	川井 明様	小林 幹夫様	佐藤 晋郎様	鈴木 泰子様
石井 仁志様	浦田 悦夫様	岡田 元様	川瀬 健介様	小松 久男様	佐藤 基孝様	瀬川 和子様
石井 芳子様	江黒 俊弘様	小野 隆彦様	川瀬ケサミ様	小室 秀夫様	柴田 乙雄様	関根 一禄様
石川 栄子様	江畑 隆夫様	小野美智子様	河津 緑様	今野 達則様	清水 睦子様	千 康浩様
石黒 隆様	遠藤 怜子様	か	川本 敬三様	さ	白崎 邦雄様	善場 弘子様
石田 久人様	大家 邦久様	海部 孝治様	川本 仁美様	堺 克利様	白瀬 好子様	園田 幸男様
石塚 勝己様	大澤嘉代子様	貝本 清美様	北村 昭治様	坂倉千恵子様	神宮司美枝様	染谷 香様
伊藤 信彦様	太田 弘様	嘉義 悦子様	國部千代美様	坂田 光穂様	新谷 始子様	た
稲田 隆治様	太田 裕康様	桂木 明夫様	久保田美穂子様	佐京 彩子様	新橋 一三様	高澤美貴子様

高田 実様
武井 巖様
竹内 光子様
竹田 輝男様
竹田 幸子様
竹田 興様
竹田津文俊様
龍野 廣道様
立石 恵子様
田中 龍彦様
田中 英隆様
田中 喜雄様
田生 宏禎様
田村久美子様

丹内 寛様
千木良明徳様
土屋 努様
鶴田 朝子様
照木 健様
土肥 昇様
東谷 昭三様
徳山美沙子様
富永 誠一様
な
永石 嘉子様
長島 賢二様
仲田 松子様
永田 勝行様

永田 浩治様
永田真由美様
永田ゆりの様
中西 充様
永野 明宏様
中村 幸雄様
西田 明生様
根本 直之様
野上 哲夫様
野田 直広様
野村 勝美様
は
萩原佐與子様
支倉二二男様

花上 友作様
浜 章次様
堤田 啓様
半田 庄司様
日高理恵子様
平井 康董様
平野 篤司様
平本 孝雄様
深澤 靖久様
福田 富雄様
福田日出彦様
福田 良之様
藤井 正昭様
堀 哲也様

堀田 文雄様
堀之内建二様
ま
前田 美奈様
牧本恵美子様
馬瀬 清孝様
松岡 伸様
松田 正樹様
松田 凉子様
三浦 圭子様
皆野川セシリヤ様
宮川 禮子様
宮本 憲史様
宮本 高子様

宮本 忠治様
宮本 信正様
村上 一平様
村上 瑛子様
村上 陸様
森山 薫様
門馬 正和様
や
矢野修一郎様
矢野 共栄様
山崎富士夫様
山田善四郎様
湯村 蔚子様
揚 志成様

横川 寛様
吉川真理子様
米山 進様
米山與志子様
わ
渡辺 栄子様
渡辺三規子様
和地 孝様
他47名様

■維持会員

あ
青柳 道子様
青山 孝徳様
赤坂 有紀様
赤山 瑞枝様
阿子島淑江様
浅川 晃子様
浅川 博様
安住喜陽子様
足立 純枝様
安達 澄代様
穴吹 福代様
荒川 健秀様
アロエベラ
ふれんず様
アロエベラ
ユニバース様
安生 智様
安藤 信子様
飯田 宏子様
飯塚たまき様
五十嵐 恵様
五十嵐鉄朗様
猪狩 光弘様
生田 芳朗様
池田 直宏様
石井 洋子様
石川 明子様
石川 郁子様
石川 正志様
石津 直行様
石戸谷和久様
石戸谷行子様
石野多加子様
石橋 昭彦様
石橋 文子様
磯貝 恵三様
磯野喜美恵様
市原 典子様
伊藤 伸様
伊藤 信夫様
伊東 靖子様
稲川 由佳様
井上 雅之様
井上 章様
岩崎 静江様
岩山 頌子様
印南 慶俊様
印南 陽子様
植木 桂子様
植木 三郎様
植木 健夫様
上野 誠治様
内海 充康様
海野 泰代様
穎川 徳武様
海老原典子様

恵美三紀子様
遠藤賀代子様
遠藤 憲孝様
遠藤 佳子様
遠藤 利恵様
小江 恵子様
大江ひろ子様
大島 恵子様
大慈彌豊子様
太田 詔様
太田 健司様
太田 純子様
太田 麻由様
太田 萬蔵様
大塚 達美様
大野美智子様
大坪 元至様
大友りう子様
大本 千賀様
小笠原史豊様
岡田 哲様
岡野 泰男様
岡橋 修様
岡橋 真琴様
小川 一成様
奥田喜代子様
奥田 徹郎様
長 信也様
尾崎 輝郎様
小澤 登久様
小沼 徹様
小沼 礼子様
小野 敏夫様
小山田宏亮様
織田 理英様
か
柿木 伸之様
柿本 正仁様
影井 良貴様
笠原 孝夫様
片岡 容子様
片 薫様
片山 董様
片山みゆき様
勝部 泰次様
勝又 禮子様
勝村 務様
加藤喜美夫様
金窪 悠様
金沢ゆかり様
金山 茂人様
金子くに子様
金子 忠正様
金子 尚志様
亀田 葉子様
河合 玲子様
河内 真人様

川上 成直様
川口 洋様
川口 泰宏様
川崎 弘子様
河津てつ子様
河村 臣生様
河村 寛子様
神田 泉様
神田 進様
木内 一美様
木坂 従子様
北沢 由美様
北角 嘉徳様
北角 智美様
北村 尚子様
木下潤一朗様
木下 紀子様
木下 典夫様
木村 眞弓様
木元 淳子様
桐田 裕美様
桐田 光修様
日下 佳子様
久民由紀子様
国平 和之様
久能 晃様
久芳征一郎様
久富木文子様
久保田 誠様
クリスティアン・
アルミンクの会
黒田 信五様
黒田 汪子様
小池 篤子様
小池 將雄様
郷右近タエ様
河野久仁子様
古賀 慎治様
小久保晴行様
小柴 禧悦様
古関 恵一様
後藤 敬子様
後藤 陽子様
小西 純子様
小林 薫様
小林 京子様
小林 憲史様
小林 弘明様
小林 洋様
小林 幸子様
小林 義明様
小船 善弘様
小山 永子様
小山 希一様
小山 実様
近藤 和枝様
近藤 洋子様

金野 民雄様
さ
齊藤 明様
斎藤恵美子様
斎藤 俊二様
齊藤 博様
斎藤 正様
斎藤由利子様
五月女進一様
堺 得夫様
酒井 知彦様
酒井 紀子様
酒井由佳子様
榊原 祥子様
阪田 信子様
坂本 勇様
鶴谷 綾子様
佐々木 勇様
佐々木恭子様
佐々木恵子様
佐々木将人様
佐々木鞠子様
佐々木義浩様
佐藤 弘毅様
沢田 亜弓様
潮上 征子様
志岐 忍様
志岐 宏様
宍戸昭三郎様
宍戸万里子様
實相寺知佐子様
篠原 辰夫様
柴田 文雄様
島崎 義勝様
島田 富子様
清水 詮代様
清水 秀昭様
志村 光恵様
城田新一郎様
晋友会合唱団様
末松 信子様
菅原 彰様
杉江 弘伸様
杉林 裕夫様
鈴木 克己様
鈴木 公正様
鈴木 孝治様
鈴木佐和子様
鈴木 雅夫様
鈴木真寿子様
鈴木 美和様
鈴木ゆき子様
須藤 隆弘様
砂畑 光江様
成城合唱団様
瀬川 和子様
関 守様

関 れい子様
関口 典子様
関端 政明様
瀬古 康子様
瀬下 敬子様
善場 弘子様
相馬 晶夫様
添田 淑子様
祖開 健様
園田 洋様
た
高井 真樹様
高田 晴子様
高橋 桂子様
高橋 幸子様
高橋 幸恵様
高橋 行雄様
高橋 裕様
高橋 洋子様
高橋リエ子様
高松 則雄様
高森きよ子様
瀧上 智恵様
瀧川 迪子様
瀧澤 悦子様
滝野 豊様
武井 勉様
竹内 昭様
竹内 渥躬様
竹下 幸枝様
竹田 俊明様
竹中 綾野様
武中 香様
竹中スミ子様
立花香代子様
田中恵美子様
田中 玉枝様
田辺エミ子様
田辺 誠治様
谷道 幸雄様
田沼 勇二様
玉井 慶子様
千々岩浩子様
千葉 和貴様
中鉢 昌子様
常見 恭子様
角田美智子様
釣巻 耕秀様
寺崎 誠作様
寺園扶美子様
東京アカデミッシュ
カベレ様
遠山 柚一様
徳永 和子様
戸出 正夫様
轟 ヒサ様
友田 寿子様

な
内藤 昭様
内藤 峰子様
永井 宏様
永井 裕史様
永井 秀文様
中尾 恭子様
中川 裕美様
長澤 絢子様
中澤 春江様
中嶋喜代子様
中嶋 欣三様
中田 芳郎様
中野 喬様
中野 浩様
永原 令子様
永松 智美様
永宮 毅久様
中村 京子様
中村美代子様
中山 朋子様
名越 恵子様
浪川 聡子様
浪川 優様
成田 俊彦様
難波 直子様
西川 悟様
西川 康子様
西沢 智康様
西嶋美千代様
西田 克彦様
西田 泰様
二本 徳子様
仁戸部弓彦様
根本 康利様
信田 幸子様
野村あい子様
は
袴塚 敦様
長谷川京介様
長谷川光明様
花輪 芳和様
浜田 光子様
浜野 千鶴様
羽村 雅俊様
林 純哉様
原 明様
原 英記様
原 洋子様
原 雅道様
原田 俊明様
原田 正明様
半田三枝子様
東尾 愛子様
東尾 吉信様
樋口 實様
土方 隆様

日紫喜一史様
日向 央様
平井 基雄様
平沢 礼子様
広瀬由紀子様
深草耕太郎様
布川 隆志様
福崎至佐子様
福澤 寿子様
福田美知子様
福田 義晴様
藤井 和子様
藤岡 正枝様
藤久保美智代様
藤田 正彦様
藤森 貞雄様
船橋 有様
古澤 恵子様
細井めぐみ様
細尾 直子様
細谷 エイ様
法橋 建様
穂満 孝子様
堀 博司様
堀内美奈子様
本宿 克様
ま
前小屋弥子様
前澤 麻子様
前田 一郎様
前田日出子様
前田友見子様
真島 香織様
松井久美子様
松井 茂様
松波 恵子様
松原 淑子様
松丸 彰男様
松丸 睦子様
松宮 道子様
松本 和夫様
松本 和子様
松本 敬子様
松本 隆志様
松本万里子様
真部 怜子様
丸茂 健様
三浦百合子様
美村 保子様
三宅加代子様
都田 慶裕様
宮崎 美枝様
宮崎 美子様
三輪美枝子様
村井 忠志様
村上 正様
村田 亨様

村松 博様	森川 智子様	安田まゆみ様	山田 徹男様	山本 康子様	吉野 邦夫様	渡邊 千寿様
毛利 暉子様	森田 和久様	安田百合子様	山田 文子様	結城久美子様	わ	渡辺 信宏様
本橋千恵子様	守屋 和子様	柳下 等様	山津 一之様	横田喜久恵様	若狭 慧様	渡辺 雅晴様
百瀬 毅様	守屋 浄秀様	柳田 迪子様	山中 厚子様	横山 雅弘様	若狭 正子様	渡辺 和様
守 孝康様	師岡 一司様	山口 博様	山根 康彦様	横山 宏子様	和田千鶴子様	他45名様
森 トキ子様	や	山口 浩之様	山本 明子様	吉田 菊子様	和田 英恵様	
森 玲子様	矢板 玲子様	山崎 隆好様	山本千鶴子様	吉田有紀子様	和田 倫子様	
森川 栄様	八木サト子様	山崎 博一様	山本 智雄様	吉野あや子様	渡邊あい子様	

■新日本フィルを支えるすみだの会 法人会員

(株)久津電機	(株)CIC	(株)東京楽天地
アサヒグループホールディングス(株)	(株)シグマコミュニケーションズ	東武鉄道(株)
(株)アスク	(株)施設管理サービス	(株)仲むら
(株)アルカタワーズ	(株)ジェイコム東京すみだ・台東局	(株)南波工業所
(株)ヴォートル	(株)昭電	(株)日建設計
AIU損害保険(株)	(株)杉田製線	(株)日本イトミック
大坪電気(株)	ステップサイエンス(株)	日本プライムリアルティ投資法人
岡部バルブ工業(株)	スミダ飲料(株)	野村鋼機(株)
花王(株)すみだ事業場	一般社団法人墨田区観光協会	(株)ビート
(株)糟谷	関根床用銅板(株)	(株)船橋屋
キップス(株)	(株)セラフ	丸源飲料工業(株)
錦糸町熱供給(株)	大東印刷工業(株)	(株)ムラヤマ
鯨岡産業(株)	田中燃料(株)	(株)モルフォ
久米繊維工業(株)	玉の肌石鹸(株)	YKK AP(株)
京成電鉄(株)	中央(株)	(株)ユービ
国際ファッションセンター(株)	(株)中央商会	(有)良味オフィス
国宝商事(株)	(株)ティバクニット	ライオン(株)
三恵産業(株)	東京ココ・コーラボトリング(株)	(株)ロッテ ロッテシティホテル錦糸町
(株)三高	東京東信用金庫	
サンワプリント(株)	(株)東京舞台照明ホールディングス	

■新日本フィルを支えるすみだの会 個人会員

あ	大瀧 愛子様	國枝 純一様	佐藤ゆり子様	高橋 政幸様	中山 由紀様	松井 英樹様
相澤 邦雄様	大瀧 信一様	久保 孝之様	真田 平次様	高橋 義之様	南雲 昇様	三浦 博司様
青木 剛様	大林 完二様	久保木 章様	鮫島 栄子様	高山 一郎様	並木 節子様	三浦 良雄様
秋葉 恵子様	大室 輝雄様	熊谷美智子様	穴倉 義人様	高山 二郎様	西明 帝子様	水口 都季様
秋葉 伸一様	岡野 嘉久様	熊谷 安弘様	穴戸 亮様	田倉 優様	西島 由美様	宮城 進様
秋本 順二様	小川 幸男様	篠崎 染子様	篠崎 染子様	武井 勝人様	西田 透様	宮澤恵美子様
阿部吾三郎様	沖田 茂様	栗林 行雄様	島崎 進様	武田美奈子様	野口 富子様	宮澤 順子様
天海 晴彦様	小倉 孝弘様	桑原きよ子様	清水 寛様	竹本 葆様	は	宮本 知幸様
新井 伸也様	長田 行雄様	郡司 剛英様	清水 泰博様	田中 進様	萩原 和富様	村田 里美様
有田 武雄様	忍足 晴夫様	小池 信子様	庄司 孝憲様	田中富士子様	萩原 美香様	森 隆夫様
安藤 朝規様	織田雄二郎様	小坂橋一之様	東海林幸雄様	田中 正明様	橋爪 昭男様	や
池田 君子様	小野 拓様	河野 弘子様	白鳥 淳様	田中 美江様	長谷川庚吉様	安井 貞子様
池田 成美様	か	光明 幸子様	末富 裕二様	田中美也子様	浜田 将彰様	安井 正様
池田 善久様	海宝 雄次様	小久保 明様	鈴木 篤様	玉居子博子様	早川 栄子様	安田 信子様
石川 一博様	笠原 正美様	小暮 真人様	鈴木 一郎様	鶴間 純治様	早崎ふで子様	柳田サタヨ様
石原佳代子様	鹿島田和宏様	小島 啓三様	鈴木えみ子様	寺澤美代子様	林 恵子様	山崎 剛様
石原 周一様	加治原 郁様	小菅 康司様	鈴木 和昭様	任田 節様	原 丈様	山崎 茂樹様
磯川 敏夫様	片桐 徳一様	小林 清様	鈴木久美子様	富岡 邦郎様	久井 隆司様	山崎 寛司様
稲田 武士様	勝田 顕良様	小林 睦様	鈴木 節子様	朝長 洋様	百花 亭様	山崎 正之様
井上 彩子様	勝俣 泰様	小室 秀夫様	鈴木 真里様	豊崎 壽幸様	深澤 靖久様	山下 公平様
井上 英男様	加藤 ハル様	小柳 堅一様	鈴木フサ子様	な	深野 紀幸様	横山 信雄様
今井 敏子様	加藤 祐子様	さ	鈴木 藤子様	仲 久美子様	福山 裕子様	吉沢弥重子様
今泉 峰子様	金子しのぶ様	齋藤 正路様	鈴木 陽子様	中潟 信和様	藤井 卓様	吉田 章様
今川 和夫様	狩野 秀子様	斎藤 雄吉様	須藤 浩司様	長島 孝様	藤井 正昭様	吉田美津子様
今牧 茂様	上條 隆志様	齋藤 好正様	関口 卓也様	中武 繁明様	藤田 彰様	わ
岩井 久枝様	亀田 紀子様	堺 恵子様	関口 皆子様	中谷 賢一様	藤田 悟様	和田 聖子様
岩佐 一郎様	唐松 順子様	酒井 敏春様	関口 芳正様	中橋 猛様	藤原 操様	渡辺 一夫様
岩下 弘之様	河合 克美様	坂倉 重徳様	関根 和子様	永廣 修様	古澤 明子様	渡部 和美様
岩瀬 均様	河上 俊郎様	坂本 静子様	関根 正己様	仲村 和子様	細川 保夫様	渡辺 茂男様
岩本千恵子様	岸川 紀子様	坂本 康治様	関谷美奈子様	中村智世子様	細田 圭子様	渡邊 正雄様
浮田 康宏様	岸本 佳巳様	佐久間 之様	た	中村 弘様	ま	渡会 順久様
内田 正代様	北村 芳子様	櫻田 智様	高根 和子様	永盛 省夫様	前田 恵子様	他14名様
宇戸 富江様	木所 律子様	雑喉 利祐様	高野 祐次様	中山 賢治様	牧野 光江様	
遠藤 浩吉様	木村 敏子様	佐藤 英治様	高橋 真二様	中山 五郎様	増田 淳子様	
遠藤 稔様	口中 常嘉様	佐藤 とく様	高橋 宏幸様	中山 誠様	松井はる江様	

楽団概要・楽団員一覧

創立 1972年
公益財団法人
新日本フィルハーモニー交響楽団

音楽監督
クリスティアン・アルミンク

Music Partner of NJP
ダニエル・ハーディング

桂冠名誉指揮者
小澤 征爾

ミュージック・アドバイザー
ゲルハルト・ボッセ

永久指揮者
齋藤 秀雄

フレンド・オブ・セイジ
ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ

新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ

音楽監督
久石 譲

文芸部

吉井 澄雄 (舞台照明家)
新井 鷗子 (音楽作家)

ソロ・コンサートマスター
崔 文洙

ソロ・コンサートマスター
豊嶋 泰嗣

コンサートマスター
西江 辰郎

第1ヴァイオリン

堀内 麻貴○
山田 容子○
一重 弘子
稲垣 桃子
岸田 晶子
澤田 和慶
塩澤 菜美
宗田 勇司
竹中 勇人
田村 直貴
松宮麻希子
山口 幸子
山本のりこ

第2ヴァイオリン

吉村 知子★
佐々木絵理子○
戸松 智美○
石田はつみ

宇野沢美緒
小池めぐみ
篠原 英和
砂畑 佳江
田村安紗美
中川富美子
中矢 英視
深谷 まり
山崎 恵子

ヴィオラ

篠崎 友美★
木村 恵子○
野村 圭子○
岩井香保里
醍醐 紀子
高橋 正人
原 孝明
間瀬 容子
矢浪 礼子
吉鶴 洋一
三島 沙帆□

チェロ

上森 祥平★□
川上 徹★
武澤 秀平○
貝原 正三
多田 麗王
弘田 徹
スティーヴン・フィナティ

森澤 泰
矢野 晶子
山崎 泉

コントラバス

竹田 勉★
渡邊 玲雄★
城 満太郎○
安保 龍也
石田 常文
廣嶋 嘉人
村松 裕子
森園 康一

フルート

荒川 洋★
白尾 彰★
野口 みお
斎藤 光晴□

フルート&ピッコロ

渡辺 泰

オーボエ

古部 賢一★
浅間 信慶
七澤 英貴

オーボエ & イングリッシュホルン
森 明子

クラリネット

重松希巳江★
澤村 康恵☆
植木 章□
鈴木 良昭 (楽友)

クラリネット & バスクラリネット

鈴木 高通

ファゴット

河村 幹子★
坪井 隆明★
石川 晃
佐久間大作

ホルン

井手 詩朗★
吉永 雅人★
金子 典樹
田中 雅樹
藤田麻理絵

トランペット

服部 孝也★
デイヴィッド・ヘルツォーク★
市川 和彦
杉木淳一朗

トロンボーン

箱山 芳樹★
山口 尚人☆
奥村 晃
宮下 宣子

バストロンボーン

門脇賀智志

テューバ

佐藤 和彦★

ティンパニ

川瀬 達也★
近藤 高顕★

パーカッション

小島 光
柴原 誠
山田 徹

★首席

☆副首席

○フォアシュペーラー

□契約団員

(留) 留学中

パーサネル・マネージャー 五島 勲二
西 春菜

インスペクター 吉鶴 洋一
浅間 信慶
城 満太郎

ステージ・マネージャー 成瀬 清明
飯野 秀明

ライブラリアン 林 知也
河田 信乃
新井 初美
松田 佳奈

事務局

事務局長 大坪 健雄
事務局長補佐 松原千代繁
総務部 部長 新藤 猛
次長 山田 裕平*
経理 井川 雅子
総務 関 顕治
袴田 史恵

事業部 部長 安江 正也*
企画・制作 桐原 美砂
武田 都
濱田 正和
佐藤 容子
西岡 詠美

営業部 部長 白鳥美代子*
チケットボックス 室長代理 栗田 博美
斎藤栄実子
須貝 紘子
馬淵 佳奈
柳澤 佳奈
大澤さやか
奥田弥栄子
椎野 篤代
常木 美和
由上 溪子

パトロネージュ 室長 大坪 健雄
山本 響子

特別参与

川上 敦 (パトロネージュ担当)
松川 直樹 (経理担当)
水上 千秋 (パトロネージュ担当)

(2013年6月現在)

■ 役員・評議員・顧問・団友一覧

理事長 宮内 義彦
副理事長 日枝 久
専務理事 大坪 健雄

理事 萩田 伍 小関 誠 庄子 幹雄 白尾 彰 新浪 剛史 初井 勝人 和地 孝

監事 橋本 正己

評議員 岩野 裕一 氏家 純一 小澤 征爾 小野 敏夫 梶原 健司 久米 信行 鈴木 茂晴 鈴木 道夫
鈴木 良昭 長妻 和男 森川 敏雄 森 正勝 吉井 澄雄

永久桂冠顧問 石川 六郎

名誉顧問 坂田 俊夫

顧問 井上 礼之 岩沙 弘道 牛尾 治朗 佐治 信忠 堤 清二 久石 譲 森 千二 森 英恵
森田 清 諸橋 晋六 山崎 昇 横山 利夫

理事長補佐 松原千代繁 永田 浩治

名誉首席 鈴木 清三 山口 浩一◇ 峰岸 壮一◇

名誉団友 奥山 澄雄 (前墨田区長) 朝比奈 隆 (指揮者) 実相寺昭雄 (演出家) 山本 直純 (指揮者)

団友 ルイ・グレーラー 福田 和子 長谷川 修 福崎至佐子 山崎 恵裕 斎藤 明 福田日出彦 木村 茉莉
山口 恭範 榎原 栄 大津千代子 裕川 雅雄 瀬戸 瑤子 田中 栄一 宮崎 隆男 井口 久美
山口 裕子 牛尾 京子 草地 一義 松波 恵子 市岡みゆき 古川原裕仁 常光 誠治 小川内一彦◇
植木 三郎◇ 関川 純二 中畑 幸子◇ 高瀬 晃也 千葉 馨 鈴木理恵子 植草ひろみ 宮川 暉雄◇
毛利 恭三◇ 成田 士◇ 根津 規子 杉江 弘仲◇ 磯崎 陽一 岡谷 治夫 松原 勝也 松原千代繁
田中 成行◇ 勝亦 健◇ 古賀 慎治 山崎 聡 酒井 紀子◇ 猪狩 光弘 栃窪 文雄 白尾 偕子
守山ひかる ゲルハルト・ワルブレヒト◇ 三界 秀実 篠原 辰夫 柴田 乙雄 会田 省三◇ 光信 利彦◇
支倉二二男 中谷 孝哉 西本 徳子◇ 牧田 齐◇ 玉之内 勉 黒田 絵奈 原 雅道 大倉 滋夫◇
山本 正治 金子 康夫 和田 健二◇ 小藤美由紀 小山 千鶴 花崎 薫 間垣 健二◇ 國枝 純一
桑原 浩

[◇定年退職]